議決された主な議案等

※９月定例会では市長提出議案30件、議員提出議案４件、請願１件、陳情３件の採決を行いました。
下記以外の議案等への賛否については、議会事務局へお問い合わせください。

○：賛成　－：反対　退：退席

会派名		※会派は、政策を中心とした同一の理念を共有する２人以上の議員で構成されます。本市議会では、会派に属する議員は代表質問や、議会運営委員会の委員となり、議会運営に関する協議を行うことができます。		鎌倉市議会議員団		公明党	日本共産党鎌倉市議会議員団			鎌倉みらい			自由民主党鎌倉市議会議員団			鎌倉のヴィジョンを考える会		神奈川ネットワーク運動・鎌倉		鎌倉夢プロジェクトの会		無所属				
議員名		※◎は会派の代表者 ※久坂くにえ議員は議長のため、採決には参加していません。		◎大石和久	西岡幸子	納所輝次	◎吉岡和江	武野裕子	高野洋一	◎山田直人	池田実	前川綾子	◎森功一	志田一宏	伊藤倫邦	◎中村聡一郎	久坂くにえ	河村琢磨	◎保坂令子	安立奈穂	◎髙橋浩司	日向慎吾	千一	くりはらえりこ	長嶋竜弘	竹田ゆかり	松中健治
主な議案等			議決結果																							
その他		議案第36号の撤回について	不承認	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	○	○	○	－	－	－	－
条例	第36号	鎌倉市青少年会館条例の一部を改正する条例の制定について	否決	－	－	退	－	－	－	－	－	退	○	○	○	－		－	－	－	退	退	－	－	－	－	－
条例	第40号	鎌倉市児童発達支援センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	－	－	－	○	○	○	○	○	○	－		－	○	○	○	○	－	－	－	○	－
補正予算	第46号	令和元年度鎌倉市一般会計補正予算（第５号） （放課後かまくらっ子推進参与の設置に係る経費等）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	－	○	－
補正予算	第52号	令和元年度鎌倉市下水道事業会計補正予算（第３号） （国道134号歩道の下水道幹線管きょ防護対策工事に係る経費等）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	第53号	令和元年度鎌倉市一般会計補正予算（第７号） （台風15号による被害の緊急対応に係る経費等）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	退	○	○	○	○	○	○
決算	第29号	平成30年度鎌倉市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	－	－	○	○	－	－	－	－	－
議会議案	第3号	カジノを含む統合型リゾート（ＩＲ）を憂慮する決議について	否決	－	－	－	○	○	○	退	－	－	－	－	－	－		－	○	○	－	－	○	－	○	○	－
議会議案	第5号	気候非常事態宣言に関する決議について	可決	○	○	○	○	○	○	退	退	退	退	退	退	－		－	退	退	○	○	○	○	○	退	○
請願	第3号	日米地位協定の見直しを国に求める意見書の提出についての請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	－

９月定例会では、議員から４件の議案が、市長から30件の議案が提出されました。主な議案の内容および議会における議決結果は次のとおりです。

《議員提出議案》

カジノを含む統合型リゾート（ＩＲ）を憂慮する決議について

カジノを含む統合型リゾート（ＩＲ）は、地方自治体の区域整備計画の申請に基づき、国がカジノの併設を認める区域を指定して設置される複合観光集客施設で、国内に最大３カ所のカジノの設置が例外的に認められることになりました。

横浜市が地域経済の振興、増収効果等の経済的メリットを理由として、ＩＲ誘致を表明しましたが、カジノを含むＩＲに地域経済や観光の振興、増収効果等を期待することの是非についての議論は尽くされておらず、また、開業により誘致自治体のみならず、その近隣自治体に及ぼすさまざまなマイナスの影響は看過できないことから、カジノを含むＩＲ誘致への憂慮を表明するとともに、本市にとっては近隣であり、影響を受ける人口が圧倒的に多い首都圏にカジノを含むＩＲの計画認定がされないことを強く望むことについて、議会として決議するものです。

議会では、少数の賛成により、原案を否決しました。

気候非常事態宣言に関する決議について

人類の活動を主な要因とする気候変動によって地球環境は劣化し、もはや持続可能とは言えず、我々の生活も脅かされている状態です。

このような状況の中、オーストラリア南東部の自治体デアビン市が２０１６年12月に初めて「気候非常事態」を宣言してから、世界の地方自治体が「気候非常事態」を宣言し、包括的な行動計画を立案、実施する動きが広がっており、これに呼応するべきであると考え、本市議会は鎌倉市がＳＤＧｓ未来都市として、「気候非常事態宣言」を行うよう求めることについて、議会として決議するものです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

《市長提出議案》

条例関係議案

鎌倉市青少年会館条例の一部を改正する条例の制定について

公共施設再編計画において、玉縄青少年会館は昭和45年に建築された建物であり、施設の老朽化の状況を考慮し、施設内の機能を順次、他の施設へ移転し、令和２年度中に廃止することとしていることから、当該条例から玉縄青少年会館の規定を削除しようとするもので、公布の日から起算して18月を超えない範囲内において規則で定める日から施行しようとするものです。

（審査の経過）

本議案は、９月18日に付託先の教育こどもみらい常任委員会で審査が行われ、委員から、青少年を含む市民の居場所の確保の見通しが明確ではない中、閉館を決定するのは時期尚早であり、市民との十分な意見交換を行うべきとの意見や、同会館の老朽化の状況を考慮すると閉館することはやむを得ないものの、利用団体の活動場所については、市が責任を持って代替の場所を確保するべきであるという意見が出され、その後、採決を行った結果、少数の賛成により、原案を否決しました。

委員会の審査が終了した後、市長から、教育こどもみらい常任委員会の審査での指摘や、近隣自治町内会や会館利用者等から陳情が提出されたことなどを踏まえ、同会館の閉館については、いま一度十分な検討をする必要があるとの考えから、本議案を撤回する旨の申し出がありました。

議会では、議案の撤回については少数の賛成により不承認とし、その後、本議案について採決を行った結果、少数の賛成により、原案を否決しました。

補正予算

一般会計補正予算（第５号）

本庁舎等整備基本計画策定支援業務に係る経費の減額および、生活保護被保護者健康管理支援事業に係る経費、幼児教育・保育の無償化に伴う子ども子育て支援システム改修業務に係る経費、鎌倉武道館空調機器修繕料の追加等をしようとするもので、歳入歳出ともに17万４千円を増額し、補正後の総額は６２７億５５２６万４千円となります。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

下水道事業会計補正予算（第３号）

国道１３４号稲村ヶ崎駅入口交差点付近の道路擁壁に隣接する歩道に埋設されている下水道幹線管きょの破損を防ぐ防護対策工事に係る経費の追加をしようとするもので、資本的収入および支出ともに３億２４５０万円を増額し、補正後の総額は資本的収入が22億８３４９万８千円、資本的支出が45億２０６１万６千円となります。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

一般会計補正予算（第７号）

台風15号による被害の緊急対応経費として、玉縄三丁目３番先災害復旧業務に係る経費、佐助保育園倒木伐採作業業務に係る経費、既成宅地等防災工事補助金、第二中学校がけ崩れに伴う倒木処理等に係る経費の追加等をしようとするもので、歳入歳出ともに２億５０９９万２千円を増額し、補正後の総額は６３０億２２５５万６千円となります。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

《人事案件》

人権擁護委員

人権擁護委員の任期満了に伴う候補者として、次の方を法務大臣に推薦することについて、議会では多数の賛成により同意しました。

新井（あらい）貴子（たかこ）氏（大船在住）
三留（みとめ）利夫（としお）氏（岡本在住）

任期は、令和２年１月１日から３年間です。

公平委員会の委員

公平委員会の委員の任期満了による後任者として、引き続き次の方を選任することについて、議会では多数の賛成により同意しました。

堀内（ほりうち）俊一（しゅんいち）氏（雪ノ下在住）

任期は、令和元年10月29日から４年間です。

可決した意見書・決議

９月定例会では、次の意見書提出および決議に係る議会議案を可決しました。なお、可決した意見書は、地方自治法第99条の規定に基づき、関係機関に送付しました。

◇日米地位協定の見直しを求める意見書
◇2021年度介護保険制度の改定に対する意見書
◇気候非常事態宣言に関する決議

（可決した意見書および決議の全文は、市議会ホームページをご覧ください）

編集後記

この度の台風により被災されました方々に心からお見舞いを申し上げるとともに一日も早く復旧されますことをお祈り申し上げます。

鎌倉市議会では、二元代表制の趣旨に基づき、大規模災害等非常時でも議会機能維持を図るため、議会ＢＣＰ（業務継続計画）を策定しました。今回初めて議会ＢＣＰを発動し、開催した議会災害対策会議では、災害情報の収集、整理、集約を行い、議会として被災情報を把握するとともに、市災害対策本部へ被災情報等を一本化して提供しました。災害時でも議会機能を維持する体制の構築に努めてまいります。

議会広報委員　森　功一